



第14-40号

2014年12月8日

通勤車両の液晶ディスプレイ・672面による 車内広告媒体「小田急TV」を運用開始します！

鮮度の高い広告コンテンツを放映し、視認率の高い広告媒体を目指します。

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：山木 利満）は、一部の車両に搭載された液晶ディスプレイを、2015年3月9日（月）より広告媒体「小田急TV」（オダキュウティーヴィー）として運用を開始します。

◆672面のディスプレイで放映を開始し、順次、面数を増やしていきます。

- ・各車両の乗降用扉の上部に2画面の液晶ディスプレイを設置し、その左側ディスプレイ（1車両につき8面）を使用して、広告コンテンツを放映します。お客さまの目に付きやすい広告媒体として、高い露出効果が見込まれます。
- ・放映を開始する2015年3月9日（月）時点の対象車両数は、84両（672面・導入率9.2%）ですが、今後も液晶ディスプレイ設置工事を継続的に実施していく予定であり、2017年度末には全通勤車両の30%超になる見込みです。

◆多様な入稿形式に対応しており、さまざまなプロモーションが可能です。

- ・HDCAMテープのほか、WMV、Mpeg2、MOV形式のデータファイル入稿にも対応しています。このため、他のデジタルサイネージやWebコンテンツの素材を、容易に流用することができます。
- ・1枠のコンテンツは15秒を基本としていますが、15秒を超える場合でも5秒単位で広告枠を提供することが可能です。



広告コンテンツの放映を開始する液晶ディスプレイ（左側赤枠・イメージ）



今回導入される1000形、3000形、4000形(イメージ)

「小田急TV」の詳細は、下記のとおりです。

記

1. 名 称 「小田急TV」(オダキュウティーヴィー)
※ テレビのように、幅広いお客さまに対し鮮度の高い情報をお届けする媒体を目指し命名しました
2. 放映開始 2015年3月9日(月)
3. 放映区間 小田急線全線(小田原線、江ノ島線、多摩線)
※ 一部の車両は、箱根登山線、東京メトロ千代田線にも乗り入れています
4. 対象車形・編成数・面数(広告放映開始時点)

車 形	編 成	面 数(1両・8面)
1000形※	2編成× 4両	64面
3000形※	1編成× 6両	48面
4000形	7編成× 10両	560面
合 計	84両	672面

※ 1000形と3000形は、広告用液晶ディスプレイを設置していない編成と連結することや、広告用液晶ディスプレイを設置している編成同士で連結する場合があります
5. モニターサイズ 17インチ(16:9)液晶ディスプレイ
6. コンテンツ配信方法 WiMAX通信
※ 走行中の車両への一斉配信が可能な点と速達性が特徴です

参 考

広告主募集開始	2014年12月8日(月)
広告販売価格	15秒／300,000円(加算:5秒／100,000円) 放映期間:7日間(月曜日～日曜日)
お問い合わせ (販売委託先)	株式会社小田急エージェンシー 交通・メディア局 交通広告部 ☎ 03-3346-9991

以 上